

次代地域社会創造委員会 年間事業計画書

1. 委員会構成メンバー ◎景山 潤一、○矢田 敦子、増本 康志、永井 悠

2. 委員長所信（基本方針）

日本企業の多くは人材不足という問題に直面しています。中でも地方は都会に比べ人口減少、若者の都市部流出が顕著で、働き手の高齢化が進んでいます。

私たちが住む安来は人口に占める高齢者の割合が3割を超えており、2025年までに4割に届くと言われていています。このことから人材不足はこの先益々深刻な問題となることは避けては通れません。さらに、近年の企業数減少ということも、人材不足、後継者不足が原因のひとつと考えられます。地域産業の衰退はまちの活気が失われることにつながります。この現状を一人ひとりが理解し地域全体で問題解決へ取り組む必要があります。

そこで私たちは、安来のまちと企業の成長、発展を目的として、安来の若者の意見を取り入れ、将来若者が活躍できる社会を、企業を巻き込んでつくっていき、地域全体でまちを盛り上げていけるような運動を行います。そしてその運動を行う中で少しでも多くのひとや企業が将来のまちのあるべき姿を想像し、良くなると信じて行動していくことで、まちは自然と活気づいていきます。その環境づくりができれば、働く社員もいきいきと仕事ができるようになり、企業は必ず成長します。人とまちが共に成長し、志をともにする大人たちの背中を見た若者もまた、次代のまちの担い手として安来の未来を明るいものへと導いてくれます。

次代が明るい豊かな社会になるための原動力となれるよう、委員会一丸となり取り組んで参ります。

3. 事業計画

1) 3月例会の開催（3月）

（目的）未来の安来を想像し、若者が活躍できる社会を作るための行動をするひとを増やします。

（方法）若者の意見を汲み取り参加者に安来の未来像を描くきっかけとなる場を提供します。

2) 6月例会の開催（6月）

（目的）若者に安来のまちや仕事に対して興味をもってもらいます。

（方法）安来と自分たちの未来を想像してもらい感じてもらう場を提供します。

3) 8月例会並びに第160回通常総会の開催（8月）

（目的）総会を開催し定款第3章第17条の事項について決議します。

（方法）通常総会を厳粛に滞りなく開催します。

4) 12月創立記念例会の開催（12月）

（目的）OB会員の皆様をお招きし、親睦を深めます。また、2020年度へ向けて士気を高めます。

（方法）山常楼にてOB会員の皆様をお招きし、懇談例会により親睦の場を設けます。